

Good Job!! Nagasaki



今日のグッジョブ

【環境保健研究センター】

県民の生活環境と健康を守る
スペシャリスト集団



矢野所長(左端)のもと、総勢35名が一丸となって業務に取り組んでいます。放射線測定車で県内を周り、大気中の放射能を定期的に測定することも業務の一つです



企画環境研究部 じんの ひろあき 陣野宏宙さん

県内の川や海の水を採取して、水中に含まれている有機物などを分析しています。壁にぶつかった時は、県内のほかの研究機関と連携して解決策を見つけることもあります。長崎県の水環境を守るため、水質改善の手がかりとなる新しい研究にも取り組んでいます



県民の健康と
安全の確保に取り組む
真剣な姿にGood Job!!

環境や保健衛生について、
子どもたちがわかりやすく
学べる、センターの一般公開も開催しています



TOC計(全有機体炭素計)で、海水や河川水の有機物量を計測しています



保健衛生研究部 たかきよみか 高木由美香さん

県民の方に直接接する機会はありませんが、食品の安全や感染症の検査などを通して、県民の命や健康を守る役割を担っているんだと、日々やりがいと責任を感じながら仕事をしています

科学的な視点で
住みよい環境を守る

長崎県には、農業、工業、水産業、製業といった産業を支える研究機関があります。今回紹介する環境保健研究センターは、県民の生命・安全を陰で支える研究機関。PM2.5やデング熱・ジカ熱、危険ドラッグなど、社会的に問題視されているさまざまなテーマについて調査・研究を行っています。

「当センターには、県民の生活環境の保全と生命の安全確保という大きな目的があり、環境問題から人の健康や食の安全、安心に関わることで幅広く調査研究や試験検査に取り組んでいます」と話すのは矢野博巳所長。

県民の皆さんに身近な例として、環境放射線の測定やツシヤママネコに関する取組、農作物に残っている農薬の検査、O157等の感染症の試験・検査などを行っています。また、その時々で問題になっているテーマを扱うことも多く、最近では、北朝鮮が行った核実験の影響による大気中の放射能測定を強化していました。

「研究員だからといってセンターにこもっているばかりではないんです。環境や保健衛生、科学技術に関心を持ってもらうため、学校等に出向いて講演なども行っています。特に子どもたちには実験などを通して興味を持ってもらい、将来、私たちが行っているような研究に携わる後輩が増えることも期待しています」。

長崎県における環境・保健衛生分野での中核機関として貢献する環境保健研究センター。その地道な活動は未来を見据え、県民の生命と安全な生活を支えています。

人と自然が共生する住みよい環境を保ち、食中毒や感染症などから県民の皆さんを守るため、科学的な観点を踏まえながら、快適で安全・安心な暮らし広がる長崎県づくりに全力で取り組んでいきます。



長崎県知事 中村法道